

令和2年度 学校自己評価システムシート (県立所沢中央高等学校)

| | |
|--------|---|
| 目指す学校像 | 節度ある生活、考える授業、達成感の持てる部活動を通じて希望の進路をかなえる学校 |
|--------|---|

| | |
|------|---|
| 重点目標 | 1. 規律ある生活態度と自主的に行動する姿勢を養う。 2. 自ら学び考える環境を整え、希望の進路の実現を図る。 3. 保護者・地域との連携のもと、積極的な活動を促す。 |
|------|---|

| | | |
|-----|---|--------------|
| 達成度 | A | ほぼ達成 (8割以上) |
| | B | 概ね達成 (6割以上) |
| | C | 変化の兆し (4割以上) |
| | D | 不十分 (4割未満) |

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

| | | |
|-----|-------------------------|-------------|
| 出席者 | 学校関係者 生徒 事務局(教職員) | 名 名 名 |
|-----|-------------------------|-------------|

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

| 学 校 自 己 評 価 | | | | | | | | 学 校 関 係 者 評 価 | |
|-------------|--|---|---|---|---------------------|-----|-------------|-------------------|-----------|
| 年 度 目 標 | | | | | 年 度 評 価 (月 日 現 在) | | | 実 施 日 | 平 成 年 月 日 |
| 番号 | 現状と課題 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 | 評価項目の達成状況 | 達成度 | 次年度への課題と改善策 | 学校関係者からの意見・要望・評価等 | |
| 1 | ○コミュニケーション力と安全意識の向上が求められている。交通安全教育の充実を通じて安全管理についての自覚を促したい。 | ○基本的生活習慣を身につけるようにし、規範意識を向上させる。 | ①生徒指導部を中心に、全教職員で統一した指導の取り組みをすすめる。 ②職員全体で情報を共有し、必要に応じて外部機関との連携も行っていく。 | ①指導内容の見直しが随時行われ、全教職員で共有できたか。 ②外部からの意見に適切な対応ができ、苦情件数が減少したか。 | | | | | |
| | ○生徒会本部役員を中心に行事運営及び情報発信が活発に行われている。学校全体の活性化を継続して図っていききたい。 | ○行事に対する全校生徒の関心や積極性を向上させる。 | ①生徒会本部と各委員会が円滑に連携して行事に関する情報を発信する。 ②過去の記録活用と同時に課題と改善点を記録し、全生徒に共有させる。 | ①諸行事で生徒が達成感を持つことができたか。 ②過去の反省を共有し、よりよい運営を行うことができたか。 | | | | | |
| 2 | ○家庭での自主的な学習が不足している。 | ○授業や課題等を通じて、学習内容の理解や学習意欲の向上を図る | ①授業方法や課題内容の工夫を図る。 ②学習への支援を行う。 | ①週末課題の提出状況と学習時間は向上したか。 ②家庭学習時間は増えたか。課題の取組状況は改善したか。 ③がイグニスや実力テストを活用し、学習活動の取り組みと進路意識の向上を図る。 | | | | | |
| | ○進路に対する早期意識付けは定着しつつあるが、自己の進路実現に向けた積極的、主体的取組が甘い。 | ○保護者も巻き込んだ、積極性・自主性を促す進路活動により、生徒の進路意識を更に高める。 | ③がイグニスや実力テストを活用し、学習活動の取り組みと進路意識の向上を図る。 ④保護者への進路情報発信と情報の共有を強く推し進める。 | ④保護者への情報発信の機会と内容が適切であったか | | | | | |
| | ○美化委員会を中心とする活動は主体的かつ計画的に実施されている。生徒各自が自主的に生活環境を整える意識を向上させたい | ○緑化及び美化に関わる意識を向上させる。 | ①春と秋の植栽活動を美化委員会を中心に、計画的に実施する。 ②美化委員会中心にゴミ分別等をポスター掲示等で呼びかける。 | ①効率よい植栽活動の適切な準備、積極的に参加したか。 ②ゴミ分別等、美化活動が適切に実施できたか。 | | | | | |
| 3 | ○生徒の関心・読解力に合う資料が不足している。 | ○館内資料を充実させ、読書意欲を高める。 | ③適切な選書と資料展示、古い資料の除籍を行う。 | ③利用者の要望に応える蔵書構成に近づいたか。 | | | | | |
| | ○学校説明会やホームページを通して、本校の様子や魅力をこれまで以上に伝えていきたい。 | ○本校の教育活動に関する発信の取り組みを改善する。 | ①全教職員でPR活動に取り組む。 ②部活動状況を含むHPの更新頻度を上げ、情報量を増やす。 | ①入学希望者が増加したか。 ②HPアクセス数が増加したか。 | | | | | |
| | ○保護者や地域から地元に着した高校として高く評価されている。PTAや地域の要望に応えつつ、協力関係を強めていきたい。 | ○状況に応じて保護者の行事参加を工夫する。 | ③PTAとの連携を通じ、学校行事等の連絡が確実に保護者に届くよう工夫改善を図る。 | ③状況に応じて保護者の参加について検討し工夫ができたか。 | | | | | |